

1

町民みんなが親切で暮らしやすくいいところ。
大人になって内子から離れたとしても
必ず戻ってくる。



31

就職で地元でUターンし、
溪流トレッキング、スキーなど
都市部にはない四季を感じる暮らし、満喫中。



2

四季折々の姿を見せる自然、澄んだ空気と星空。
旨い酒を酌み交わし、
暮らしの一つ一つがかけがえのない幸せだと。



30

その時期に内子でしか食べられない食材の宝庫。
内子の“美味しい”は、私の自慢の宝です。



3

旬のおいしい農作物に作りたてのお豆腐。
おじちゃんおばちゃんの温かい心に助けられ
子育てでき、感謝。



29

若い頃、道中の草刈り後の景色に感動した。
70を過ぎても草刈り機が手放せないのは、
あの感動が忘れられないから。



4

家族のように受け入れてくれる
人々のあたたかさ、
美しい自然と文化に囲まれ過ごす豊かな日々。



28

地域の人たちの関わりが深く、
とても楽しく過ごせています。
温かく見守り助けてくれることに感謝。



5

僕がいた学校では、授業で凧を作ります。
きっと他の学校ではできない体験だと思います。
内子町に住んでいてよかった。



27

挑戦の日々。上手くいかないこともあるけれど、
応援してくれる人の存在に救われた。
まだまだこれから！



6

フロントガラス越しに日々変化する景色。
お気に入りの音楽をかけながら向かう
職場へのひとときは、心地よいドライブのよう。



26

農作業中、
ふと顔を上げた時の空気や山、川、空、
とても澄んでいて、吹く風が気持ちいい。



7

「いってらっしゃい」「おかえりなさい」
地域の方々からの声掛けに
自然と心がほっこりします。



25

内子町に嫁いで11年。

自然や人に恵まれたこの町での生活が
幸せなんだなあ



8

人にあふれた賑やかな都会もいいけれど、
自然に囲まれて静かにゆっくり暮らせるのは
この町の良いところだと思う。



24

内子はドイツのローテンブルク市と姉妹都市。
海外派遣に応募するも選ばれず。
来年こそは、と心に決めて。



9

広報うちこで見つけ参加した「ポップ句会」。
何年経っても上達しないけれど、
楽しく続けられているのは仲間のおかげです。



23

「甘いお酒だね。内子の食事に合うように造られた
美味しい酒だね。」と、
お酒好きな有名人に褒められた。気分がいい。



10

ひどく叱られた小5の頃。朝から小田まで歩き続ける僕を、引きとめたのは軽トラに乗った農家さん。人の優しさに触れた、親も知らない6時間のプチ家出。



22

内子に来て苦手だった挨拶ができるようになり、
自分が少し明るくなった気がします。
内子に来てよかった。



11

内子町の生き物たちに幸せと癒しをもらっています。
特に猫と鳥が大好き！



21

趣味はサイクリングです。

週末に自転車で小田を駆けると自然の豊かさや
涼しさを味わえます。



12

田んぼも畑もない僕だけど将来の夢は農家さん。
いろんな人に教えてもらって
みんなに農作物を届けたいな。



20

小1から始めた内子こども狂言クラブ。
先生の教えの元、内子座で公演できたことは
内子だからこそその経験。



13

スポーツ大会やお祭り、愛護班など
地域イベント尽くし。

沢山の人と関わることで子ども達も楽しそう。



19

ふるさとを後にした友の「あんたらがここに
居てくれるから帰って来れるんぜ、有難いよ！」
がうれしくて。ここはいい町です。



14

自然豊かな内子町。夏はホタルが飛び交います。
とても綺麗で毎年見に行きたくなる。
僕のおすすめです。



18

川にはプールとは違う楽しさがあり、
山はとても自然深く、登りがいがありました。



15

幼稚園から獅子舞を体験し、
小学校では町並みの勉強。
昔ながらの文化や歴史を大切にしていきたい。



17

古い町並み、鰻絵で飾られた屋敷・内子座など、
築き、守り抜いた方々へ思いを馳せて——

uchiko no itoko



\Fight!/\

今月も折り返しです

この紙を後ろにまわして
東ごとひっくり返すと
16日から始まります



16

お手伝いのごほうびにと、
からりアイスを頬張る我が子の笑顔と
小田川の清流を眺め、ほっと一息。

